

はじめの一步

高校生の頃、学校で科学者や研究者のお話を拝聴する機会が何度かありました。当時、専門的な内容は理解が追い付かなかった部分も多くありましたが、印象的だったのは、全ての先生方が本当に楽しそうだったことです。一生徒として参加していた私でさえも、なんだかワクワクするような気持ちになったことを覚えています。「研究者は楽しそうだな」と漠然と感じたきっかけは、この時期にあったように思います。

私が「人工光合成」に出合ったのは大学1年生の頃でした・・・